

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課		■担当係	生涯学習係
■評価事業名称	ホームページ管理運営事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	090200 - 022	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	02 社会教育の充実		
	■施策	01 生涯を通じた学習機会の充実		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市教育振興基本計画			
■事業の目的と概要	インターネットで生涯学習情報を提供し、生涯学習活動の促進を図る。生涯学習センター主催事業及び生涯学習情報全般の発信。施設の利用予約システム。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	ホームページ管理運営事業	一般	ホームページにて生涯学習情報を随時提供。ホームページ、施設予約システムの更新に向けて導入システムの検討。	年間アクセス件数6,145件 月平均512件

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	57	56	52	73	
人件費	447	375	382	1,768	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	504	431	434	1,841	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	アクセス1件あたりコスト	97.10円	71.06円	70.4円	299.6円	フルコスト÷ホームページアクセス件数
02	更新1回あたりコスト	21,000円	16,576円	25,529円	153,417円	フルコスト÷更新回数
03	ホームページアクセス件数	5,190件/年	6,065件/年	6,164件/年	6,145件/年	

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

04 更新回数	24回/年	26回/年	17回/年	12回/年	システム不具合により市ホームページでの告知へ移行しつつある
---------	-------	-------	-------	-------	-------------------------------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

市の生涯学習情報を提供し、生涯学習活動の促進を図っている。施設の利用予約システムも活用されている。

問題点・課題等

現在のシステムを導入してから相当年数がたっており、システムの一部が破損している。業者から保守対応期間が経過しているため、壊れた場合は対応できないといわれている。施設の利用システムを活用している団体にも影響を及ぼす。また、多言語化に対応していない。新システムへの移行に向けて事務量が増加している。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

現在のシステムは改修不能のため、新システムを導入し、生涯学習情報の提供及び貸館業務の効率化を図る。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了